

2018 年度(平成30年度)学校評価自己評価表

一ツ橋中学校区	校番 25	福山市立一ツ橋中学校
最終更新日	2018年(平成30年)4月2日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 「中学校区や学校のめざす子ども像」「中学校区や学校の児童生徒の現状や課題」「学校の重点」「短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況」等がよく分かった。	児童生徒の現状 小中一貫教育推進デザインや出前授業、合同行事により、児童は小学校段階から中学校を意識した言動が見られるようになり、落ち着いた学校生活を送っている。ただ、小学校の不登校児童が中学校に入学しても不登校の状態にあり、その対策は不十分である。また、学力の定着状況についても課題がある。	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	「課題解決力」「論理的な思考力」「主体性・積極性」「コミュニケーション力」 ・自分にあった課題が設定でき、解決過程での体験や結果を生活や学習に生かしている。 ・根拠を明らかにし、筋道を立てて考えながら、過程や結果をまとめたり、説明したりすることができる。 ・さまざまな集団の中で、自己の役割を意識し、積極的に活動しようとしている。 ・友達との交流を大切に、相手の話をよく聞いたり、考えを受け止めたりして、お互いの存在や立場を尊重しようとしている。 一ツ橋中学校区小中一貫教育推進デザインを基盤とした取り組みにより「知・徳・体」の育成をめざす。合同挨拶運動、音楽発表会、クリーンアップ一ツ橋及び出前授業を実施するとともに、振り返りの交流を行う。
--	---	---	--

III 自校

ミッション 燃えたぎる一ツ橋中魂(心に太陽・情熱と躍動)で、大地を踏まえ大空に向かって羽ばたく人間の育成	学校教育目標 自ら輝く、ともに輝く	現状 <児童生徒> 授業改善等の取組により、授業が分かると感じる生徒は約93%にのぼるが、思考力・判断力・表現力を問う定期テストの正答率は約42%にとどまっております。読解力の育成に課題がある。また、家庭学習を毎日1時間実施している生徒の割合が目標値に達しておらず、内容や生活リズムの徹底の継続した指導が必要である。新体力テストにおいて、国・県平均より上回っている項目が、48種目中13種目しかなく、課題が見られる。 <授業> 教えて考えさせる授業の取組により、生徒が「自ら考える場面」等を授業展開の中で設定したり、考えさせる発問を工夫したりしているが、単元や授業の終末において、生徒が何を理解し何が分かったのかを振り返らせさせるなど学習内容を定着させる取組に不十分である。	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 中期 後期	「課題解決力」 自分にあった課題が設定でき、その課題を解決しようとしている	「論理的な思考力」 根拠を明らかにし、筋道を立てて考えることができる	「主体性・積極性」 学級の集団の中で、自己の役割を意識し、積極的に活動しようとしている	「コミュニケーション力」 友達との交流を大切に、相手の話を聞いたり、考えを受け止めたりしている
研究	教科等 主題・内容等	総合的な学習の時間 教師が教え込む授業から、「子どもたちが自ら考え学ぶ授業」への転換～授業のユニバーサルデザインの充実を通して～	めざす授業の姿 ・教えて考えさせる授業の推進し、分かりやすく説明し、じっくり考えさせ、はっきり表現させることにより学習内容の習得をめざす。 ・ユニバーサルデザインによる授業づくりにより、「めあて」と「振り返り」が繋がった授業、一指示・一動作による生徒が学びやすい授業をめざす。				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立一ツ橋中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	70%以上評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上評価	達成評価	総合評価
1	自ら考え学ぶ授業の推進 (定期テストにおける思考力・判断力を問う問題の正解率60%以上)	★	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習1時間以上の生徒を80%以上 ・教職員アンケート「授業においてユニバーサルデザインの充実を図っている」を80%以上 ・生徒アンケート「先生の指示や質問が分かりやすい」「自ら考える場面がある」の肯定的解答85%以上の教科が25/30 ・「課題発見・解決学習」に関する肯定的解答70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学习や宿題(5教科)の提示 ・「めあての提示」「一指示・一動作」「構造的な板書」の実施 ・「教えて考えさせる授業」の視点で授業を実施 ・「ペア・グループ」を活用した授業の実施 ・総合的な学習の時間における研究授業を年3回実施 ・課題発見・解決学習教科単元構想の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの生徒アンケートの実施 ・学期ごとの生徒及び教師アンケートの実施 ・学期ごとの生徒アンケートの実施 ・学期ごとの生徒アンケートの実施 ・各教科各学年年間一つ以上の単元構想作成 								

1	高まり合う学校・学級集団の育成(学校が楽しいと思う生徒を90%以上にする)	★	新規	<ul style="list-style-type: none"> 総合ポイント制度に関わる取組項目を学期に6項目以上 委員会活動、係活動に積極的に取り組んでいる生徒を90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動を年間通して評価、表彰する年間総合ポイント制度の活用 6, 11, 1月に学活交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期生徒アンケートの実施 全教員年間10枚以上グッド&ナイスカード配布 学活交流シートにてチェック 												
5	意欲を高める健康・体力づくりの推進(新体力テストで県平均以上の種目を60%(28/48)以上にする)	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テストで国・県平均以上の項目数を48項目中20項目以上 「朝6時半までに起きている」「夜11時までに寝ている」をともに70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業始めに補強運動の実施 講演会を実施 学校だより等による保護者啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとの生徒アンケートの実施 学期に1回の「早寝・早起き」の調査 												
1	教職員の資質と指導力の向上(生徒アンケート「授業が分かる」が85%以上)	★	新規	<ul style="list-style-type: none"> 教師アンケート「生徒の多様な考えを引き出す工夫をしている」の肯定的解答85%以上 定時退校日の完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「教えて考えさせる授業」の視点で一人一回研究授業の実施 授業参観週間を毎学期実施 毎週定時退校日を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとの教職員・生徒アンケート 教職員による相互評価 入退校時間記録 												
5	保護者・地域への積極的な学校情報の発信(本校に通わせてよかったと)		継続	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりを年間25号以上発行 地域行事、地域ボランティアへの 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりの発行、全世帯への回覧 地域行事、地域ボランティアの周 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとの生徒、教職員及び保護者アンケートの実施 												

